

科目ナンバー： BC3073

授業コード： 2230300700

講義科目名称： 精神看護学演習

英文科目名称： Practice in Psychiatric Mental Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員			
谷本千恵、◎舩山健二、伊藤ひかる、小嶋優香			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 谷本 千恵 ◎舩山 健二 伊藤 ひかる 小嶋 優香	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上	【研究室】 312 306 共同研究室4 共同研究室4	【メールアドレス】 tanimoto@niigata-cn.ac.jp funayama@niigata-cn.ac.jp hitou@niigata-cn.ac.jp ykojima@niigata-cn.ac.jp
	・実務経験のある教員が担当します。			
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎ ○			

到達目標	1. リカバリーストレングスモデル、バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、オレム-アンダーウッドのセルフケア理論、精神力動論、MSE(Mental Status Examination:精神状態の査定)の理論・モデル等を用いて、精神障がいをもつ対象を包括的な視点から説明できる。 2. 紙上事例について、指定された記録用紙を用いて、看護過程を展開することができる。 3. 精神障がいをもつ対象が置かれている社会的状況や、当事者の経験・思い・希望をふまえた治療的かわりについて説明できる。 4. 精神障がいをもつ対象の意思決定支援、権利擁護の視点を説明できる。 5. 精神科の療養環境や精神科看護師の治療的かわりについて、関心を寄せることができる。 6. コミュニケーションの原則や技術、カウンセリングの基本と技術をふまえ、精神障がいをもつ対象にあわせたコミュニケーションについて説明できる。 7. シミュレーション、プロセスレコードを通じ自己のコミュニケーションパターンを理解し、学修課題を明確にできる。
------	--

授業概要	精神看護の実践に必要な理論と援助の原則や方法等の基礎的能力について、演習を通じて修得する。本科目では、これまでの学びを統合し、精神看護学実習に向けて必要な知識・技術・態度の修得を目指す。
------	---

授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：演習ガイダンス / 精神看護における看護過程 学修内容：バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ストレングス・リカバリーモデル 事前学修：精神看護における看護過程について、教科書や精神看護学Ⅱの授業資料を確認する。 事後学修：配付された事例シートを熟読し、看護過程の展開に取り組む。 備考：舩山 2 授業内容 授業形態：講義 学修課題：精神障がいをもつ人の自己決定支援 学修内容：精神障がいをもつ人の自己決定支援 事前学修：自身の生活場面を想起し、意思決定のプロセスをイメージしたうえで、授業に臨む。 事後学修：精神障がいをもつ人の自己決定を支えるための看護師の姿勢や態度について考える。 備考：舩山 3 授業内容 授業形態：講義➤当事者の体験を聴く 学修課題：当事者の体験を知る 学修内容：当事者の体験をありのままに聴き、当事者を支える看護について考える。 事前学修：当事者が体験を語ることの意味、それを聴くことの意味を考え聴く姿勢を意識する。 事後学修：本時の学びを看護過程の展開に活用する。 備考：ゲストスピーカー(当事者) 4 授業内容 授業形態：講義 学修課題：精神症状とセルフケアの査定
------	---

	学修内容：オレム-アンダーウッドセルフケア理論、精神力動論、Mental Status Examination：MSE（精神状態の査定） 事前学修：看護過程の様式1-①・②、様式2を記載する。 事後学修：本時の学びを踏まえ看護過程の様式1-①・②、様式2の修正を図り、様式3を記載する。 備考：船山 5 授業内容 授業形態：講義▶精神科臨床看護師と教員の対談を聴く 学修課題：精神科臨床看護の実際を知る 学修内容：精神科臨床看護の実際 事前学修：これまでの学修や紙上事例から、精神科看護における臨床的な疑問を整理する。 事後学修：本時の学びを看護過程の展開に活用し、実習に向けた学修課題の明確化を図る。 備考：ゲストスピーカー（臨床実習指導者） 6 授業内容 授業形態：演習 シミュレーション（ロールプレイ） 学修課題：治療的コミュニケーションの理解 学修内容：患者役・実習生役・観察者を体験する（場面：1・2・3）。 事前学修：指定のコミュニケーション技法動画を視聴し、紙上事例患者をイメージしたうえで、授業に臨む。 事後学修：場面1・2・3の振り返りシートを見返し、到達目標6・7の達成に向けた整理を行う。 備考：船山、伊藤、小嶋 *体育館において実施 7 授業内容 授業形態：演習 学修課題：治療的コミュニケーションの理解 プロセスレコードの作成 学修内容：第6回の演習における実習生役の場面をプロセスレコードの様式に記述する。 事前学修：必携図書の第1章・第2章および、第3章の中から1事例を読んだうえで、授業に臨む。 事後学修：必携図書を参照し、記述したプロセスレコードを確認する。 備考：船山、伊藤、小嶋 *体育館において実施 8 授業内容 授業形態：講義 学修課題：精神看護における看護過程 学修内容：紙上事例についての解説を行う（プロセスレコード、看護過程）。 事前学修：看護過程の様式3を記載する。 事後学修：本時の学びを踏まえ、看護過程の様式1～3・プロセスレコードの見直し修正を図り、学びシートDを作成する。 備考：船山
評価方法、評価基準	到達目標1・2に対して、看護過程の展開記録30%、到達目標3・4・5・7に対して、学びシートの記録45%、到達目標6・7に対して、振り返りシートおよびプロセスレコードの記録20%、到達目標1～7の取り組み状況5%により評価する。
必携図書	長谷川雅美(2020)自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード第3版，日総研出版。
参考図書・資料等	萱間真美(2024)対話でリカバリーを支えるストレングスモデル実践活用術，第2版，医学書院。 萱間真美(2021)ストレングスからみた精神看護過程+全体関連図，ストレングス・マッピングシート，医学書院。 吉川陸博，木戸芳史(2021)看護判断のための気づきとアセスメント精神看護，中央法規出版。 木戸芳史(2023)クライアントとともに創るコプロダクション型精神看護過程ー基礎知識・事例&計画シートで実践に活かす，中央法規出版。 村井俊哉(2022)これだけは押さえない改訂第2版精神科の薬ー抗精神病薬・抗うつ薬・睡眠薬・抗認知症薬…ーはや調べノート，メディカ出版。 武藤教志(2021)他科に誇れる精神科看護の専門技術メンタルステータスイグザミネーションVol.1，第2版，精神看護出版。 武藤教志(2021)他科に誇れる精神科看護の専門技術メンタルステータスイグザミネーションVol.2，第2版，精神看護出版。 狩野俊介，野村照幸(2024)危機がチャンスに変わるクライシス・プラン入門ー精神医療・保健・福祉実践で明日から使える協働プランー，中央法規出版。
受講、課題、資料配布等のルール	・90分授業のうち20分以上の不在は欠席とみなす。 ・欠席等の連絡は、科目責任者：船山へ連絡（メールは返信を確認し、返答が必要な場合は返信）すること。 ・詳細は初回演習時に配付する「演習ガイド」を確認すること。 ・精神看護過程の展開に必要な資料は、初回演習時に配付する。
教員からのメッセージ	演習の内容は、実習に直結するので、看護過程の展開に関する疑問などは、演習時に解決しておきましょう！わからないこと、知りたいことなどは、遠慮なく教員へ伝えてください。
オフィスアワー	疑問や質問がありましたら、各回の演習開始前や演習終了時に声をかけてください。研究室へ訪室希望の場合は、事前にメール等で日時を予約することをお勧めします。